

令和6年度

北島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導方法の改善
- ②学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 天野久美子	委員 校長	教頭	教頭	校長
	研修主任 1年主任 4年主任 教務主任	2年主任 5年主任 特別支援教育コーディネーター	3年主任 6年主任	

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎・基本的な知識・技能が身に付いている児童が比較的多く、課題に真面目に取り組む児童が多い。 ●書く活動、話す活動において、得意な児童と苦手な児童の差が大きい。 ●学習した知識を活用する力に課題がある。	・学習ルールが定着している。 ・基礎・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。(単元テストで8割達成できる児童を8割以上) ・身に付けた知識・技能を他の学習や生活の場面において、活用することができる。	・発問や板書の工夫、教材の精選、ICTの活用等で、分かる授業をする。 ・ドリルタイムや宿題を活用し、基礎的・基本的な内容を毎日継続して実施する。 ・定期的に小テストを実施して、定着を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教師や友達の意見をしっかりと聞き、肯定的に受け取る児童が多い。 ●自分の考えを言葉にして説明したり、文章を書いたりすることに課題がある。 ●友達の意見を聞いて、更に自分の考えを深めることに課題がある。	・目的や相手を意識し、根拠や理由を明らかにして、積極的に自分の考えを話したり書いたりすることができる。 ・友達の考えのよさに気付いたり、自分の考えと比べたりして、更に考えを深めることができる。	・聴き方・話し方のモデルを示す。 ・どの教科でも、書く時間を確保し、自分の考えをもたせる。 ・ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、話し合い活動を充実させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習に対して真面目に最後まで取り組むことができる。家庭学習の習慣が定着している児童が多い。 ●自分の意見や思いを進んで伝えることが苦手な児童がいる。 ●自ら課題を見つけ主体的に学習することに課題がある。困難な課題に対してあきらめず解決しようとする意欲が低い児童もいる。	・学習規律が身に付き、進んで学習に取り組んだり、発表したりすることができる。(1日1回以上発表できる児童を8割以上) ・学習活動に見通しをもち、自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことができる。 ・困難な課題に対して、粘り強く取り組むことができる。	・「授業のスタンダード」の活用。 ・ICTやペア活動、グループ活動を効果的に活用し、興味や関心を高め主体的に活動できるようにする。 ・めあて、まとめを明確にし、学習の振り返りをする時間を確保し、次の学習への意欲を高める。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

